

全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2022 開催要項

1. キャンペーンの概要

- ①名称：全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2022
- ②サブタイトル：あつまり、ともに、つながる
- ③キャンペーン期間：令和4年9月17日（土）～11月13日（日）
- ④主催：公益財団法人 日本レクリエーション協会
- ⑤共催：スポーツ庁、都道府県レクリエーション協会、一般財団法人 日本ユースホステル協会、一般財団法人 休暇村協会、一般財団法人 公園財団、独立行政法人 国立青少年教育振興機構
- ⑥実施団体・グループ：公益財団法人 日本レクリエーション協会、都道府県および市町村レクリエーション協会、日本レクリエーション協会加盟団体（種目別加盟団体の日本協会、地域協会、及びその支部など）、都道府県レクリエーション協会加盟団体、日本レクリエーション協会公認指導者養成課程認定校、日本レクリエーション協会公認指導者グループ、共催団体及び共催団体関連団体 ほか
- ⑦各実施プログラムの名称：実施団体・グループが決定
- ⑧プログラムの内容：子どもや家族を中心に、あそびやスポーツ等をテーマとしたもの、種目別加盟団体が開催する大会、課程認定校で行われる実習 ほか
- ⑨全国後援：厚生労働省、総務省、全国市長会、全国町村会、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、公益財団法人 日本パラスポーツ協会

2. キャンペーンの趣旨

「あそびの日」とは、あそびやスポーツ、野外活動、文化活動などのさまざまな活動を通じて、年齢や障害の有無にかかわらず、人と人とのつながりと笑顔を広める取り組みです。2004年度から、毎年約2ヶ月間のキャンペーン期間を設け、地域レクリエーション協会、公認指導者グループをはじめ、共催団体等多くの組織が参画し、全国各地で活動しています。

一方、今年3月に策定された第3期「スポーツ基本計画」では、スポーツで社会活性化等にも寄与するとし、その中でもスポーツで「あつまり、ともに、つながる」ことによる「スポーツを通じた共生社会の実現」は、「あそびの日」が目指してきたことと重なる部分も多く、今年度のサブタイトルとしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出を控え他人との接触を避けざるを得なかった状況が続き、様々な行事も中止や延期、規模を縮小せざるを得なかったこともあり、「あそびの日」であつまり、ともに、つながることを期待しています。

今年も「あそびの日」にて展開されるあそびやスポーツ、野外活動、文化活動、旅行などを通じて、世代や障害の枠を越えた交流を楽しみ、相互理解を深め、つながりを築き、みんなで笑顔になる。そんな共生社会を創ることを目指して、全国一斉「あそびの日」キャンペーン 2022 を実施します。

3. キャンペーンと連動したコンテストの開催

自宅で、ご家族などと楽しめる「おうちで 60 秒チャレンジ」のランキングに挑戦する「うちチャレ」を開催します。

○「うちチャレ」

「おうちで 60 秒チャレンジ」は、自宅で、ご家族などとできる、からだを動かすあそびです。現在 11 種類のチャレンジがあり、好きなチャレンジを選んで、チャレンジした動画を Twitter に投稿して記録を競う「うちチャレ」を開催します！なお、各チャレンジの上位記録（1～3 位）には、賞状と副賞（QUOカード）をプレゼントします。

・募集期間：9 月 17 日（土）～11 月 30 日（水）

・参加方法：Twitter に共通ハッシュタグ「#おうちで 60」と「#スポーツインライフ」をつけて動画を投稿。日本レク協会がリツイートして受付完了です。なお、リツイートしたチャレンジは、「おうちで 60 秒チャレンジ」および全国一斉「あそびの日」キャンペーンの web サイトで随時公開されます。

・結果発表：「おうちで 60 秒チャレンジ」および全国一斉「あそびの日」キャンペーンの web サイトにてアカウント名と記録を公開。

・賞：各チャレンジ 1 位～3 位を表彰。賞状および副賞有り

➤1 位 賞状、副賞（QUOカード 5 千円分）×11

➤2 位 賞状、副賞（QUOカード 3 千円分）×11

➤3 位 賞状、副賞（QUOカード 1 千円分）×11

4. 推奨プログラム（予定）

2010 年度から導入されている「手つなぎジャンプ」を推奨プログラムとして全国展開します。

※必ず新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施を検討ください

「手つなぎジャンプ」のイメージ

■参加対象 イベント参加者およびイベントスタッフ

■実施方法 全員で手をつなぎ「わっ・わっ・わ～!!」や「せーの」等の掛け声に合わせて一斉にジャンプをする。

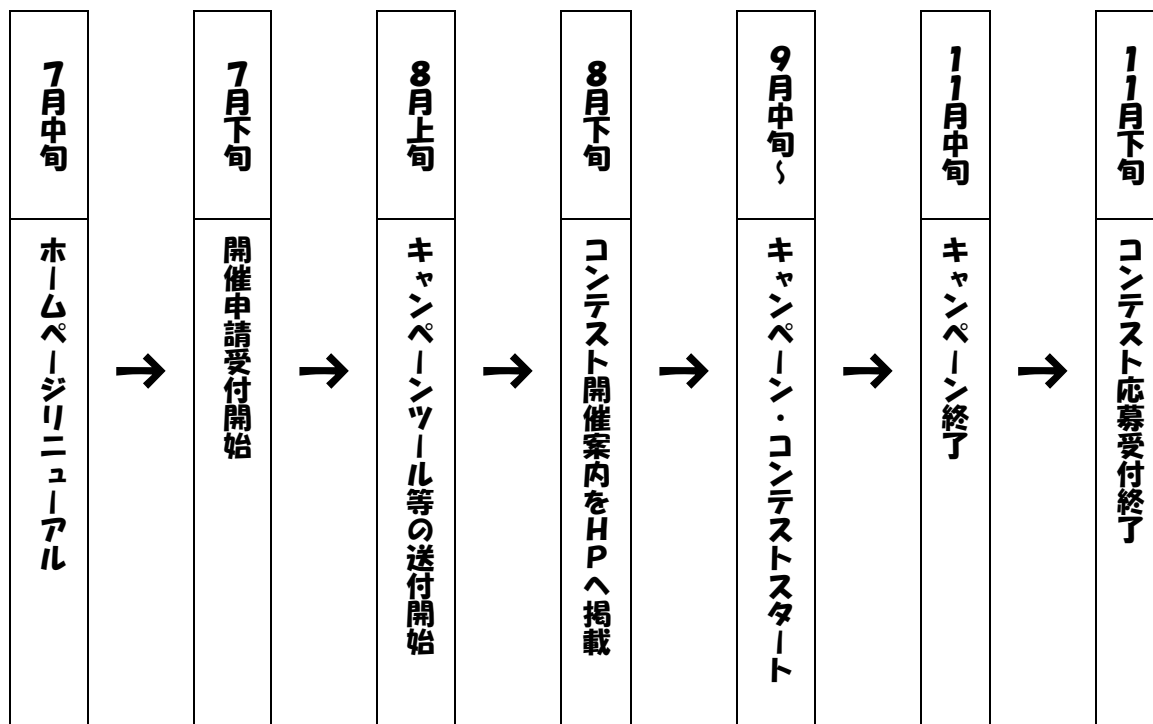
■ポイント アイスブレーキングなどを活用しながら、参加者の気持ちを 1 つにして一体感を高めていきましょう。

*プログラムを変更する必要はありません。

*車いすの方は、手をつないだまま、掛け声に合わせて手を前後に揺らすだけでもかまいません。または、肩を組むだけでもかまいません。

*隊形は輪にならなくてもかまいません。

* 今後のおおまかなスケジュール



お問合せ先

公益財団法人日本レクリエーション協会

事業部 担当：原

電話：03-3834-1093

Eメール：hara@recreation.or.jp